

記者会見（質疑応答）

日時 令和8年6月3日（水）午前11時から

場所 第2応接室

出席者 ○市側：市長、木村副市長、町田副市長、総合政策部長、未来戦略担当部長
総務部長、財政部長

○記者側：10社14名参加

発表内容 ・第19回市議会定例会の招集告示について

<案件について>

○苫小牧民報社

名古屋グランパスのキャンプの日程が決まったということですが、公開は基本的に毎日になるのか、例えばキャンプ期間中に練習試合とか市民と交流するような場面があるのか、決まっていたら教えてください。

■総合政策部長

練習は基本的に公開であります。また、試合（トレーニングマッチ）も計画されておりますが、いつやるかの詳細については後日決定するという事になっておりますし、ファンとの触れ合いというところも検討中でございますので、その詳細が判明し次第お知らせしたいと考えています。

○北海道新聞社

グランパスのキャンプに関して追加でお伺いします。市民の方がプロスポーツに関わる良い機会になると思いますが、こういった場にして欲しいのか市長の思いを聞かせていただきたいことと、グランパス側のリリースを見ますと協賛企業が出ていますが、そのあたりの連携がありましたら教えてください。

■市長

Jリーグの名門クラブである名古屋グランパスさんが苫小牧でキャンプをしていただけるということで、プロサッカー選手あるいは名古屋グランパスの魅力を存分に苫小牧市民の子どもから大人まで感じていただけるような機会を作ればと思っております。

我々として重要なのは、名古屋グランパスさんがJリーグで優勝できるように、最高のトレーニングができる環境づくりをしていくことも大事ですので、その二つを両立できるように進めていきたいと思っております。

先日社長がこちらにいられて覚書締結をしましたが、そのときも市民を挙げて名古屋グ

ランパスを歓迎するムードづくりをしたいと思っております。

それと愛知県下の企業さんが苦小牧にたくさん来ていらっしゃいますので、企業さんの協力もいただけると伺っておりますから、市民あるいは企業一体となって歓迎のムードづくりあるいは支援体制をつくっていきたいと思っております。補足があれば部長からお願いいたします。

■総合政策部長

7月4日から開始されますので、当日は歓迎セレモニーも検討しております。選手の負担にならない程度に私どもも検討したいと思いますし、協力していただける企業と連携を図りながら、クラブチームが苦小牧に来てよかったと思えるような、歓迎するようなホスピタリティでお迎えしたいと考えております。

○北海道新聞社

市民の方がボランティアなどの形で関わる機会も検討されていますか。

■市長

詳細はこれからだと思いますが、既に地元のサッカー協会の皆様には、先日社長が来られたときもご同席いただきましたが、様々な形で情報発信や機材の運搬などいろいろな関わっていただけるほうがいいと思っていますので、どういう場面でどういうやり方があるのかわかりませんが、できる限り市民の皆さんに関わっていただけるようなことは考えていきたいと思っております。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

ランパスの件ですが、環境づくりということで、この間グラウンドの整備など、何が行われてきたのでしょうか。

■総合政策部長

グラウンドにつきましては、クラブチームにも見ていただきまして、基本的に全部改修するのが最高の出来だと思いますが、いきなりそこまで時間をかけられませんし、お金もいくらかかるか試算をしなければならないので、まずは今できる範囲でどれだけできるかを指定管理者とも相談しまして、例えば少し凸凹があるところの修正や芝生の状態の悪いところに種を蒔いて土を入れるような整備をして、7月のキャンプ本番までにはできるだけ現状で最高の状態に持っていけるように努力している途中です。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

専決処分の補正予算の関係で地域未来交付金事業の採択による増額補正の中に、都市再生コンセプトプラン事業費の1億5760万円の補正がありますが、これは7年度の中で当初予定していた事業をそのままこちらの事業に組み替えたということなのか、それとも何か新たな事業を追加したということなのか確認させてください。

■財政部長

当初、令和8年度予算で計上していたものを、そっくり財源を移し替えたということになります。

7年度の国の交付金がついたので、7年度の事業として補正をして、8年度の予算はその分全て落としている。事業としては同一の内容のもので整理をしているということです。

○北海道新聞社

グランパスの関係で市長にお伺いしたいのですが、日程が23日間ということで発表されましたが、市にもたらされる期待する効果、例えば交流人口であるだとか経済効果など、どのようなところに期待しているのかお伺いさせてください。

■市長

市民および、市外からもたくさんの皆さんに、練習や試合を見に来ていただきたいと思っています。

また、FC東京さんが白老町さんでキャンプをやることが決まっておりますので、こちらとの練習試合が組まれることもあり得ると思いますので、そうなるとFC東京のファンの方も含めて、見学に来られる可能性もありますし、そういった形で最大限その効果を見いだしていきたいと思っております。

交流人口の増ということは様々な経済消費活動も苦小牧でしていただける可能性もありますので、そういったことで地域経済の活性化にも繋がればと思っております。

○北海道新聞社

部長にお伺いしたいのですが、先ほどひらくさんの質問の中でグラウンドの整備と準備について質問がありますが、例えば歓迎ムードを作っていきたいということで、グラウンド整備以外でも何かしていることがあればお伺いさせてください。

■総合政策部長

ハード的なことであれば、今回補正予算に上げていますが、寄附をいただいておりますのでその寄附で屋根付きのベンチを買うですとか、クラブハウスにエアコンをつけるですとか、そういったことは今回の補正予算の中で算出しているということになります。

その他ソフトの面については、どのような受け入れ体制などを行うのかクラブとも相談しながら、いつファンと触れ合える機会がどのようなタイミングでできるのか、どのようなやり方をするのかというところは今後詰めていきたいと思っています。

ファンと選手との交流は期待されていますので、何か応えられるようなことを考えていきたいと思っています。

○朝日新聞社

グランパスの件と予算の関係を細かく教えてください。まずグランパスの件ですが、3日からキャンペーンということは2日の夕方には苦小牧入りすると思うのですが、その時点で市のほうで何か歓迎セレモニーといいますかイベントはご予定になっているのでしょうか。

■総合政策部長

4日からのキャンペーンということになりますので、4日に入ってくるということです。当然最初に何かしらのセレモニーは検討しておりますが、選手の練習が第一ですので負担にならない程度のことをやっていきたいと思います。

○朝日新聞社

4日に入ってきて4日に練習開始なのでしょうか。キャンペーンというと、他のJ1のチームを取材したときは前日に現地入りして、翌日からキャンペーンという形になるのですが、着いたその日にスーツケースからトレーニングウェアを出してグラウンドを走り回るといったことはあんまり聞いたことないのですが、4日に来るのでしょうか。

■総合政策部長

そこはチームの考え方だと思います。聞いている話ですと4日に入られて、厳しい練習をするのか軽く汗を流す程度にするのかはクラブチーム側の考え方になると思いますが、私どもは4日から始まるということをおさえているということです。

○朝日新聞社

一般会計の歳出の中に、新ときわスケートセンターの休業補償金があるのですが、この金額が多いか少ないのかはわかりませんが、全額を補償なさるあるいは一部という考えなのか、40日間の縛りをすると4万3500円ぐらいの金額になると思いますが、この妥当性といえますか、算出根拠がもしあれば教えてください。

■総合政策部長

本来営業していれば入ってくるだろう使用料を算出した上で、施設を閉めることによってかからない電気代や、ガス代、水道代を引いた部分です。そこの部分を補填するという考え方になっていて、細かい計算は省きますけれども必要額としてはこの金額になるということになっています。

○朝日新聞社

全額補填するということですか。

■総合政策部長

全額です。本来収入を得られるだろうというところから、かかっていないお金を引いて、本来支出しなければならない部分を引いて、その残った部分を補填するということです。

○朝日新聞社

それは過去5年間の平均の実績なのか、2024年シーズンの単年度の実績なのか。

■総合政策部長

前年の2月と3月の収入を基準にしています。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

今回の補正でJリーグの名古屋グランパスの関係の整備費は、スポーツ施設整備費429万円の部分だと思いますが、この429万円全てが名古屋グランパスにかかる部分なのかということと、先ほど屋根付きのベンチやクーラーの話が出ていましたが、それ以外で整備する部分がこの予算に含まれているのでしょうか。

■総合政策部長

補正予算429万円の内訳ですが、全てということではありません。一部はサッカー場以外のものにも使用するという事になっています。具体的には陸上競技場のエアコンの設置を検討しております。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

そうしますと、今回名古屋グランパスにかかる予算は大体どのぐらいになるのでしょうか。後で大丈夫です。

○室蘭民報社

グランパス様とFC東京様で練習試合を組むことも可能性としてあり得るというお話でし

たが、行政側として何か隣同士の市と町でそれぞれ J1 のチームが来るわけですから、何か交流人口を増やそうですか、より人を呼び込むような連携した取り組み等を行っているのかどうか確認させてください。

■市長

まだ形になっているものはございませんが、白老町が今年スポーツ都市宣言をされて 50 周年の節目の年だと伺っております。

我々は 60 周年ですが、同じ節目の年ですので練習試合も含めて連携することができればという話は町長とはしていますが、具体的に決まっているものではありません。

これは東胆振 1 市 4 町でも、J リーグのキャンプを含まない町もありますが、そういったところにも情報発信をして、練習や試合を見に来ていただくようなことで、地域として効果を広げていくこともできるのではないかと思います。

白老町さんとはそのようなお互いに節目の年でタイミングもありますので、練習試合も含めて何かできたらとの思いはあります。

○室蘭民報社

具体的にまだ進んでいないということですが、そういった話が塩田町長とは少しあり、それに向けてやっていければというお考えはあるということですか。

■市長

何かできたらとの話はしております。

○建設新聞社

今年の 7 月からグランパスが苫小牧でキャンプされるとおっしゃっていましたが、今年だけじゃなくてももちろん来年、再来年以降も苫小牧でやっていただきたいというのが市としての考えだと思いますが、それにあたって TOMASEI フットボールフィールドの改修という部分になってくるのですが、今年 4 月に一般競争法がくだされまして来年度の改修に向けた設計というところで発注されていると思いますが、改めて市長のほうから今後の苫小牧が選ばれていくために、練習拠点になる施設がどのようにあるべきかお考えをお伺いします。

■市長

名古屋グランパスさんが、苫小牧にキャンプを決めていただく過程の中で、非常に高いレベルを求められるのは芝ですとか練習場に関わるものだと認識しております。

ただ先ほど部長からもありましたように一気に 100%までいかななくてもいいですという中で、我々もそこに合わせて毎年施設の修繕を図っていくということで、今回キャンプが決ま

ったものと思っておりますので、今回キャンプに来られてこういったところを改修してほしいというような要望もおそらく出てくると思いますが、そういうものもしっかり向き合いながら最終的にはグランパスさんが求める形までもっていければと思っております。

○建設新聞社

先ほど室蘭民報さんの質問の中で白老との連携の話がありましたけれども、もう少し西側まで行けば室蘭市にも FC 今治というチームが来ることになっていますが、またさらに札幌まで行けばもちろんコンサドーレもいますけれども、東川や網走とかそちら側にも J リーグのチームが来ますが、単純に距離的に見たらある程度の近さはあると思うのですが、特に室蘭、白老だけじゃなくとも何かしら連携していく考えはありますでしょうか。

■市長

試合をいつどこ組むかということはまだ把握しておりませんが、FC 今治さんも当然同じ胆振に来られますので、組めるのであればぜひ試合をやっていただきたいと思っております。

室蘭さんがスポーツ宣言の何周年とか、そういうものがあるかどうかは把握していませんが、何か連携ができるのであれば是非していきたいと思っております。

○HTB

ファイターズ 2 軍誘致についてはもう大詰めだと思いますが、市長の感触と自信についていかがでしょうか。

■市長

感触についてはなかなか申し上げにくいですし、自信があるかと言われるとなかなかお答えしにくいですが、最終局面を迎えているのは間違いないと思っておりますので、繰り返しの答弁になりますけれども、ファイターズさんから苦小牧と一緒にやると言ってもらえるように様々なハードルを越えていける努力を限られた時間の中で最大限行っていきたいと思っております。

○HTB

駅前の再開発があると思いますが、駅前再開発とファイターズ 2 軍誘致の連携はどう考えているのかという点と、考えているのであればそこを誘致においての強みと考えているのかお聞きしたいです。

■市長

市内数ヶ所を候補地としてファイターズさんと協議をしております、駅前もその中には入っております。

駅前再開発とファイターズとの 2 軍施設の誘致が関わってくるところも可能性としてはありますので、そのようなことも踏まえて駅前再開発の基本計画策定を先延ばしにすることを議会でも答弁させていただいております。

そういう中で、私どもとしてはファイターズさんの誘致がまず実現するかどうかというところで、駅前の再整備も含めていろいろ変わってくるところがありますが、まずは誘致の実現ができるように最大限頑張っていきたいと思っております。

○北海道新聞社

HTB さんの質問の中で様々なハードルを越えていきたいとおっしゃいましたけれども、改めましてそのハードルはどのようなものがあるのか教えてください。

■市長

元々チャレンジをするときから場所をどこにするのか、あるいは公的な財政的な投入のところまで、どれぐらいかかるのかということも含めていくつか協議しなければいけないところはありますので、そういったところが最終的に鍵となってくると思っております。

詳細は申し上げられませんが、それ以外にもたくさん協議事項がございますので一つ一つ乗り越えていきたいと思っております。

○北海道新聞社

先ほどの質問の中で自信があるのかという問いに、答えにくいとおっしゃられていましたが、市民の方が関心を持っているのが、誘致に期待が持てそうなのかどうかというところがあると思うのですが、市長は率直にどうお考えでしょうか。

■市長

報道各社さんの 3 市の比較報道が最近特に頻度が高くなってきており、そういった報道を見て市民の皆さんも苫小牧にあればいいのではないかなど色々なご意見を言ってくれますが、そういった期待に何とか応えたいと思っております。

先日も日本ハムのウインナーを大きな鍋に盛って、高校生の皆さんが最後まで頑張るということで応援イベントをやっていただきましたけれども、そういう若い人たちのパワーで我々の誘致活動を後押ししていただけるという、大変心強いこともありましたので、最後まで頑張っていきたいと思っております。

○北海道新聞社

交渉も詰めの段階に入っていると思いますが、今の交渉状況が何合目ぐらいまで到達していると考えてますでしょうか。

■市長

何合目と言われるとお答えにくいですが、もう 6 月に入りましたので本当に交渉最終局面だと思っておりますので、最後までしっかりとやりきりたいと思います。

○北海道新聞社

これまで 9 ヶ月ぐらい活動してきたわけですがけれども、その間で改めてわかった誘致に向けた現状の課題と他市の様子などを見て苫小牧の優位性、どういうところが発見できたか、この 2 点について教えてください。

■市長

エスコンフィールドとの距離でいけば恵庭市さんや江別市さんは近いと思いますが、苫小牧市は空港からのアクセスや北海道最大の港を持っており、フェリーもたくさん就航していることであるとか、企業がたくさん集積をしている街であるとか、人口規模を踏まえても改めてこの苫小牧市には力がまだまだあると思っております。

そういったところも球団側にはアピールを引き続きしていきたいと思っておりますし、誘致が実現した際にはそういったものを全て駆使してファイターズの人材育成などにも支援をしながら、苫小牧のまちづくりを一緒に行っていくようなことができればなど期待しています。

○HBC

今の状況というのは、ある程度話し合いが終わって向こうの判断を待つ状況なのか、それともこれに関しては判断が決まるまでは日々状況が変わるぐらい粘り強く交渉機会があるような状況なのか、どちらでしょうか。

■市長

球団側から明確に 6 月のいつ最終判断を下すというところは聞いておりませんので、それまでは協議が引き続き行われるものと思っております。

○HBC

先ほど若い方たちのウイナー井のイベントとかおっしゃられていましたけれども、この後も何かその市として、または関係団体の取り組みとして最後の一手みたいな取り組みの隠し球はあるのでしょうか。

■市長

先日の高校生のイベントは、6月に何か出るだろうということで5月中に何かやりたいという思いで、急遽1週間前に企画して決めたということでしたけれども、民間の団体の期成会を含めての動きを把握しておりませんが、非常にありがたい動きですので期待に応えるように頑張っていきたいと思います。

○苫小牧民報社

ファイターズ2軍誘致の関係で、いきなり明日決まるということはないというご判断で今の答弁だったのでしょうか。

■市長

いつ判断をくだされるかというのは把握しておりませんので、その時まで協議が続くものと思っております。

○苫小牧民報社

来週から議会の招集がありますが、議会の期間中に発表や何らかのリアクションがあった場合、議会はどのようになるのですか。

■市長

議会とも相談しながら考えたいと思いますが、基本的には議会会期中は議会の日程に沿って議会優先で行われるものと思っております

○朝日新聞社

5月24日のコトマで開催された高校生のイベントの中で、高専の5年生の彼が提案書でかなりデータ分析に基づく詳しい提案書を発表されており、市長もかなり高い評価を持っておられるという印象を受けたのですが、その中で例えば全体のイベントに対する市長の評価の高さは分かったのですが、彼の提案の中に一つだけ市長が触れられなかった部分があり、苫小牧市は財政力指数が道内2番目に高く、北海道日本ハムファイターズ側の施設整備費の要求にも2市と比べると、かなり柔軟性を持って対応できるのではないかとこの部分のレポートでしたが、それについて市長はいざとなったら政治判断をするご覚悟があるのかお答えいただけますでしょうか。

■市長

ファイターズだけではなく、財政的な支出を伴うものについては大小関わらず、これは政治判断、ある意味では全てが政治判断だと思います。

そういった中でファイターズも、どれぐらいの財政出動が伴うのかというのは、様々協議

しておりますし、今ここでお示しすることはできませんが、一つ大事にしなければいけないのは、市民サービスに大きな影響を与えないようにしっかりと財政シミュレーションを行い、ファイターズの誘致実現に向かっていかなければいけないということは思っております。

この間の学生さんの分析提案もどこまで正しいかというのは、あの場では触れられませんでしたけれども、そういったところをしっかりと大事に考えていかなければいけないと思っております。

○北海道新聞社

市の事務方にお伺いしたいのですが、以前の美々川の土地利用工事について、5月下旬に植苗で地元への説明が行われましたが、今のところ今後どのような説明会やヒアリングのスケジュールを考えているのかわかる範囲で教えてください。

■未来戦略担当部長

以前もお話したとおり、5月の末に地域に入っているいろいろなご意見を聞くことはありましたが、今後何をやるのかということは具体的にまだ決まっておきませんので、日程とかはこれから決まるものだと思っております。

○北海道新聞社

美々川の土地利用方針を巡っては、都市計画審議会の前に事前の説明不足というような指摘が地元や市議会の定例会でも相次いでいたのですが、この説明不足という指摘に対する市長の受け止めに教えてください。

■市長

都市計画審議会の議事録も見させていただいておりますが、用意したものはある程度丁寧な説明をしようということで望んだものだと思っております。

ただ、都市計画に関わる中身ですとか、対象となっている美々川周辺が実際にどうなのかというところについては、細かな質問がでて明らかになっていくものだと思っておりますので、都市計画審議会の中での委員さんの質疑もそうですし、地元の住民の皆さんからも実際の申請があった場合はどうなるのかとかいうところは、逆にそういう質問をいただいたことで明らかになった部分があると思いますから、私は説明が足りないということであればどんどんパブリックコメントでも結構ですし、色々な形で聞いていただければ、こちらは誠意を持ってお答えしたいと思っておりますので、説明不足がもしあれば、どんどん言っていただければと思っております。